

第Ⅰ編 総論

第Ⅰ章 計画策定にあたって

Ⅰ 計画策定の背景と趣旨

国や県においては、健康寿命^{※1}の延伸や、健康格差^{※2}の縮小を目的とした「健康日本21(第二次)」や「富山県健康増進計画(第2次)」が策定され、個人での健康づくりだけでなく、職場や地域、家庭、学校など社会全体で健康づくりを推進する機運の醸成など、健康づくりを推進していくための様々な取り組みが行われてきました。

本市においても、平成25年3月に高岡市健康増進計画「健康たかおか輝きプラン」(平成25年度～29年度)を、平成30年3月に「健康たかおか輝きプラン(第2次)」(平成30年度～令和5年度^{※3})を策定し、市民一人ひとりが生活の質を高め、健康寿命を延ばし、できる限り健康で自分らしい生活を送ることができるよう健康づくりの総合的な取り組みを推進してきました。

この間の本市の状況として、徐々に人口減少が進み、高齢人口の割合が増加している一方で、年少人口・生産年齢人口の割合が徐々に減少し、少子高齢化が進んでいます。また、平成25年から令和4年において、本市の平均寿命と健康寿命は、増減を繰り返しながら横ばいで推移する中、国や県と比較し悪性新生物(がん)や脳血管疾患の死亡率が高く、メタボリックシンドローム該当者及び予備群も年々増加していることや、青壮年期では依然として好ましくない生活習慣がみられる等、これらを改善することが喫緊の課題となっています。

これらを踏まえて、本計画では、単に身体健康だけでなく、意識せずとも健康になれるような環境整備や地域コミュニティの醸成など、様々な角度から健康づくりをとらえ、市民一人ひとりが、健やかで心豊かにいきいきとした人生を目指すことができる社会の実現に向け、「健康たかおかスマイルプラン」(令和6年度～11年度)を策定します。

※1 健康寿命：一生涯のうち、健康で自立して生活できる期間のことをいいます。

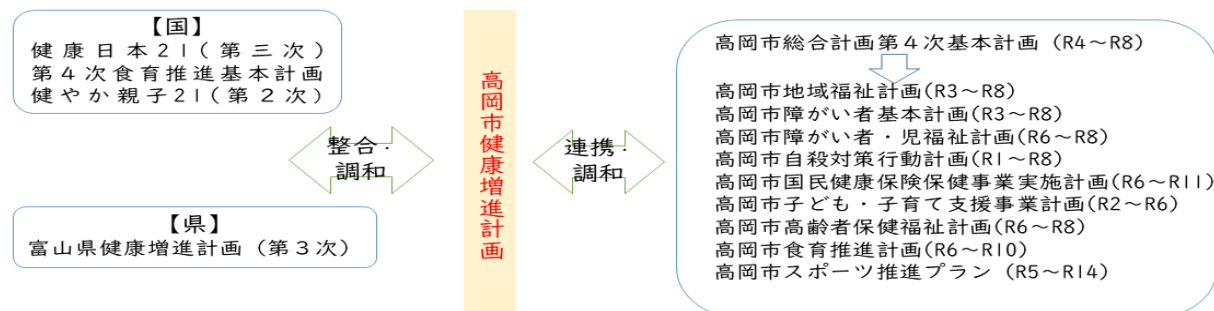
※2 健康格差：地域や社会経済状況の違いによる集団における健康状態の差のことをいいます。

※3 「健康日本21(第二次)」の計画終期1年延長(令和3年8月4日告示)を受け、「健康たかおか輝きプラン(第2次)」の終期を令和5年度まで延長しました。

2 計画の位置づけ

本計画は、健康増進法第8条の規定に基づく市町村健康増進計画とし、国の「健康日本21(第三次)」、「第4次食育推進基本計画」、「健やか親子21(第2次)」、富山県の「富山県健康増進計画(第3次)」など各種個別計画と整合性を図ります。

市の「高岡市総合計画第4次基本計画」を推進するための行動計画とし、「高岡市地域福祉計画」や「高岡市子ども・子育て支援事業計画」「高岡市食育推進計画」等、各分野の計画との連携・調和を図ります。



3 計画期間

計画の期間は、令和6年度から令和11年度までの6年間とします。

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17				
市	健康たかおか輝きプラン					健康たかおか輝きプラン（第2次）						健康たかおかスマイル プラン															
県	富山県健康増進計画（第2次）											富山県健康増進計画（第3次）															
国	健康日本 21（第二次）											健康日本 21（第三次）											12 年間				

4 計画の策定体制

計画策定に際して、広く市民が参画し、市民の意見を反映することが重要です。そのため策定にあたっては、28 地域健康づくり推進懇話会や健康づくりボランティア団体ほか関係団体などにおける意見交換会を実施したほか、パブリックコメントの収集を行いました。これら市民などの意見を踏まえ、高岡市健康づくり推進協議会で協議を重ねました。

5 SDGs の理念との整合

SDGs の理念と方向性は、本市の総合計画に掲げた施策と一致しており、総合計画に基づく取組を着実に推進することでSDGs の達成を目指します。

本計画においても、SDGs の17のゴールのうち、「3 すべての人に健康と福祉を」・「11 住み続けられるまちづくりを」「17 パートナリーシップで目標を達成しよう」の3つを念頭に、市民・地域・企業・行政がともに協力し、全ての市民の健康づくりを進め、目標の達成を目指します。

「高岡市健康増進計画」に関連する主な SDGs の目標

	目標	内容
	3 すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
	11 住み続けられるまちづくりを	包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
	17 パートナリーシップで目標を達成しよう	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

出典：外務省「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」

コラム「SDGs とは」

「SDGs」とは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称で、2015年に国連で採択された2030年までの世界共通の目標です。17の目標と169のターゲット（具体目標）から構成されており、その理念と方向性は、本市の総合計画に掲げた施策と一致しています。

本市では、今後、誰一人取り残さない、持続可能な社会の実現を目指すSDGsの考え方を取り込んだ事業を通じて、様々な企業、団体、市民の皆様に広く普及啓発して意識を醸成するとともに、多様なステークホルダー（利害関係者）との連携を促進し、高岡で自律的好循環を構築していきます。